

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2012年12月・2013年1月合併号
2012年の締めくくり！スキーキャンプ特集☆



❖今年もご愛顧の程、宜しくお願い致します❖



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「2013年の新年所感」

盛岡YMCA理事長 石渡隆司

盛岡YMCAに連なっておられる多くの皆様に、新年のお祝いを申し上げます。当会への日頃の皆様のご協力にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

この新年は、「3.11の大震災」にこれまでの活動を振り返りながら、今後の盛岡YMCAの活動の主軸となる方向性を明確にしていきたいと考えています。

「3.11」の津波・地震・災害はその範囲と規模において、文明化された国家が、戦争以外で初めて経験した、大惨事で現代文明そのものの進路の危機に他なりません。

世界中の多くの国々が「世界を代表する科学技術大国の日本が、この災害を機縁として、20世紀以来の技術万能思想に陥りがちな世界文明を二項対立ではなく、双方との調和へと転換することを期待していることは想像に難しくありません。

また、私ども日本人としては、「自然の底知れぬ現象」に比して、人間がいかに小さな存在であるかについて謙虚になる目を持っていることが必要でありましょう。私たちは中近東に多く残されている「洪水神話」の真実性を今ようやく認識しはじめてい

ます。もともと人間の世界は「自然+文明」の統合であって、両者は『敵対する』ことではなく、「適合する」ことを目指さなければならぬのですから、技術文明は自然の根本構造の破壊者であってはならないとは言うまでもありません。

YMCAの基本活動である子供たちの成長支援にも、自然と個人の二つの調和が求められるべきです。その活動の基本的視点は、個人の成長や活性を妨げている心理的壁とそれを与えている背景を見つけ、それをできるだけ自分の力で取り除く手助けをすることだろうと思います。そのためには、まず誰でも多少は持っている心の傷を、自分で忘れられるように仲間たちと心を開き合っていけるように配慮することでしょう。

今年は、盛岡YMCAの創立30周年に当たります。いずれにせよ、ひとりひとりの個人の健全な生き方は、今われわれの目の前にいる君、あなた、そしてなによりも私の生の健全な目標の探求にかかっていることを忘れずに生きていきたいと願っています。

☆2012年も最後まで大騒ぎ！スキーキャンプ☆

2012年の締めは盛岡YMCAのスキーキャンプだ☆

12月26日～29日までの3泊4日でエンジョイスキーキャンプ、27日～29日までの2泊3日でジュニアスキーキャンプが行われました！場所はお馴染みの「八幡平リゾートスキー場」です。エンジョイでは12名の子どもたちがスキー三昧の4日間を過ごし、ジュニアでは36名の子どもたちがエンジョイ組の1日分を取り戻すかのごとく全力で遊び切りました！リーダー・スタッフ10名も合わせて総勢58名！それはそれは騒がしい…いえ、にぎやかなものです♪スキーレッスン、部屋、食事、お風呂、プログラムなどなど、いろいろな場面で1人1人の胸の中にたくさんの思い出が刻まれていったことでしょうか。このキャンプで出来るようになったこと、体験したこと、初めて知ったこと、感じたこと、そして出会った人たちを思い出とともにいつまでも覚えていてくれたら嬉しく思います。リーダー・スタッフ一同、このスキーキャンプの思い出話ができることを願って、みんなとまた会える日を楽しみにしています☆

文責：盛岡YMCA 家村

先発隊！エンジョイスキーキャンプ



← エンジョイ組はひと足先にスキーを堪能♪

↑ ナイトプログラムはすごろく！

ジュニアスキーキャンプ合流！



初リフト！！ちよつと怖いけど大喜び♪ ←



↑ ジュニア組も合流して楽しさ倍増！みんなの元気でグレンデ中がにぎやかに！？



↑ ナイトプログラムにはグループの仲間との協力が必要だ！

↑ 朝食、夕食はバイキング！あれもこれも…でお腹いっぱい☆



エンジョイスキーキャンプメインリーダーより

12月26日から29日まで、エンジョイ・ジュニアスキーキャンプを行いました。初日こそ吹雪のような天候でしたが、そのあとは天気恵まれ、子供達と思う存分スキーを楽しんでくることが出来ました。スキーグループではそれぞれの目標が掲げられ、それに向かってレッスンが進められていきました。仲間とわいわい騒ぎながら、白銀の世界をたくさん滑る中で、いつの間にか目標に近づいていき、ついに達成した時の喜びはとても大きいもの！レッスンが終わり、部屋のグループに戻って来た時、子供達は、どれくらい上手くなれたか、どんな楽しいことがあったか、目を輝かせながら教えてくれました。

部屋ではその部屋のメンバーだからその色が出た、新しい遊びがいつの間にか生まれていました。また、部屋やスキーのグループでの仲間以外にも、生活の中やプログラムで関わり、新しいつながりが生まれました。キャンプ中には様々な出会いや経験、挑戦がありましたが、それが皆の心の中にキラキラ光る思い出として残ってくれていたらいいなと思っています。

冬はまだ終わりません！またみんなでスキーしにいきましょう♪

文責 盛岡大学社会文化学科4年 高橋 みどり (ダダリーダー)

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 12月報告書

宮古も12月後半から1月になると、厳冬期に入り、盛岡と同様に最高気温が0度を超えない真冬日を記録するようになってきました。YMCA宮古ボランティアセンターも最低気温がマイナス5度以下になる場合は、夜必ず水抜きをするようになりました。

震災後、宮古を拠点にして二度目の越冬となりますが、近隣の仮設住宅で冬の寒さ対策の聞き込みはこれからも継続して行って、出来る限り個別にニーズに応じていきたいと思っております。

YMCA宮古ボランティアセンターでは、12月に入ってから地域に密着しながら様々なイベントを行っております。

12月の宮古アドベンチャークラブ（月1回の野外活動）は、被災地の小学校5校を対象に、日本キリスト教団宮古教会の会堂をお借りして、クリスマス会を行いました。寒い時期の活動であることを想定して、クリスマスリースの飾りつけや、ロールケーキをブッシュ・ド・ノエルに見立てて、グループごとにデコレーションを行うといったケーキ作りのような、主に屋内中心の活動でした。ただ、アドベンチャークラブ流のクリスマス会でしたので、一部外遊びを行い、午後に宮古小学校の校庭をお借りして、屋外でも伸び伸びと遊んでもらえる内容にしました。残念ながら当日の午前中は雪のために、急きょ体育館をお借りしての活動になりましたが、それでも参加した小学生は、普段から限られたスペースでの生活を強いられている中で、久しぶりにドッチボールや鬼ごっこをして楽しそうに過ごしていました。季節的にも自分たちから外で遊ばなくなっている状況においては、とても有益だったと思います。

次回の宮古アドベンチャークラブは2013年の2月に実施いたしますが、1月12日（土）から14日（月）までは、三菱商事株式会社の協賛による、フレンドシップスキーキャンプが行われます。そのスキーキャンプを1か月後に控えた12月15日（土）に、保護者説明会を宮古教会の会堂をお借りして、当日の流れやタイムテーブル、持ち物、事前の提出物の確認を行いました。対象はアドベンチャークラブと同様に、宮古市の被災地域の小学校5校を対象に、田沢湖スキーキャンプ場にご招待という形で実施いたします。

募集は11月28日（水）の午前10時よりスキーキャンプ募集を開始したのですが、その日の正午までには定員の50名に到達し、その後もしばらくは電話が鳴りやみませんでした。保護者間での口コミで評判が広がってきているようです。

これからは、YMCAの活動を今迄以上に地域の方に知っていただき、より多くの方にボランティアに参加していただきたく、地元の宮古高校、宮古商業高校、宮古水産高校などに訪問して、高校生ボランティアの参加要請をいたしました。

各校の先生方はYMCAの活動に賛同して、学校内で募集をしてくださり、アドベンチャークラブなどの野外活動や仮設住宅でのボランティア活動など、先月あたりから多くの地元の高校生のボランティアにも参加していただけるようになりました。

今後も多くの活動に同じ生徒さんが継続的に参加していただくことと、近い将来、宮古の復興のために、地元のボランティアの方々を中心となって活動が続いていくことを願っています。

宮古ボランティアセンター長 大谷



↑ クリスマス会。おやつのケーキを美味しくいただきました。



↑ クリスマス会。日用品を使ったクリスマスリース作り。



↑ 田沢湖スキーキャンプ説明会



↑ クリスマス会。宮古小学校体育館での自由遊び。



← お餅を切り分ける作業。地域の方々にも協力していただきました。

宮古での活動実績	
☆ 受益者数	53, 678人
☆ ボランティア数	17, 074人
(11月末日のべ人数)	



← 仮設住宅の訪問声かけです。1人でも多くの方とお話しできればと思います。



← 仮設住宅で餅つき会。大勢の地元の高校生たちがボランティアとして参加してくれました。

11月サンデースクール★「スノードームを作ろう」

11月アドベンチャー ☆「YMCA探検隊！」

11月11日(日)、11月のサンデースクール「スノードーム作り」が行われました。子ども6名、リーダー7人の計13名が参加してくれました。さて、スノードームとは？スノードームは、ふたのついた小ビンにサンタクロスや雪だるまなどのフィギュアや、ビーズなどを入れてクリスマスの飾りものです。装飾に使うビーズやスパンコールをみて、女の子達が目もきらきらしていました！今回、中に入れるフィギュアも手作りしました。消しゴムを思い思いの形に削ったり、練り消しを好きな形につくったり。すてきなフィギュアが完成しました！フィギュアができたから、ビーズと一緒に小ビンに入れていきます。ここで登場するのが『魔法の水』です！（※魔法の水とは洗濯のりと水を混ぜたものです）これをいれると、ビーズが雪にみえるようになるのです！魔法の力も借りて、世界にひとつしかないスノードームを完成させることができました☆
＼(´▽`)/

文責：盛岡大学栄養科学部
2年 澤口 栞
(おたまリーダー)



11月18日(日)。この日、YMCA探検隊として勇敢な15名の子どもたちと9名のリーダーが集結しました。今回は前日までの大雨で、当初の予定の滝沢村森林公園を断念。。。そこでYMCAの本町センターを拠点に小部隊に分かれて盛岡市内を探索しに出掛けました♪
午前中に各部隊で見つけたチェックポイントで記念写真を撮り、午後にはほかの部隊が撮ってきた写真を見ながら、そのチェックポイントを探してくるというものです！子どもたちもよく見なれた場所ですが、1つ1つの建物やお店、置物などをじっくり見ていくと普段は気付かないものや面白いものがたくさん隠れていました。どの子ども自分の記憶を絞り出し、部隊の仲間と協力してチェックポイントへ向かっていました。どの小部隊も大健闘☆さすが！
YMCA探検隊はどこへ行っても大活躍ですね！

初雪が降るほど冷え込んで風の冷たい日でしたが、子どもたちの元気はつらつぶりにはいつも感心させられますね*

文責：盛岡YMCA 家村 知佳
(しろくま)



こほれ種24

「雪に悩まされながら思うこと」

日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 主事)
中原 真澄



私が盛岡に住んで3回目の冬となりました。関東以北に住んだことがなかった私には、先ず寒さがこたえました。でも意外と直ぐ慣れ、零下5度位ならマダマダ～と思うようになりました。なかなか慣れないのが雪掻き(盛岡では氷欠きと呼ぶ方がピッタリですが)の大変さです。今度の冬も元旦までは雪が少なく、このまま行ってくれたらと思った途端に30cm以上…ヤッパリ！と思ったことでした。

雪掻きに用いる膨大な労働時間も、生活維持以上の経済効果を生まない…随分のハンディだなあ～と感じます。北日本にとって雪は、毎年数百億円にのぼる経済的負担となっている…そんな情報を何処かで見た記憶があります(額は定かではありません)。これって不公平と思いました。でも最近、受け止め方が少し変わってきたのです。

雪道をはみ出して歩いていても、車はユックリ脇を通り越し、決してクラクションを鳴らしません。横断歩道でない所を横切っても車が止まってくれます。自分が車を運転していても、道が滑りやすく、車線が見えないこともあります。交差点でも何処でも、互いに譲り合うのが当前の感じ。不便さが譲り合う優しさを生んでいる…そう感じるのは私の思い込みでしょうか。

YMCAのプログラムも同じだなあ～と思うのです。便利な環境で何不自由なく予定をこなすプログラムより、不便な環境で、努力が予定の成果をすぐ生み出すと限らない…そんな中で力を合わせる方が、参加者の潜在的な能力-継続する力、協力する姿勢、優しさや想像力…等-を引き出してくれます。それは、日常の生活でも同様かも知れません。便利さに流れやすい現代だからこそ、心して大切にすべきことなのかも知れません。

私たちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5章3～5節)

～表紙の写真より～



「いいか。YMCAニュース新年号の表紙だぞ！最高にいい顔しろよ!!!」
2013年リーダー・スタッフ一同、今年も皆様に笑顔をお届けまいります☆
2012.12.22～23 リーダートレーニングでの1枚

1月の予定

- ★1月7日(月)～10日(木)
サッカー合宿 (於：いこいの村)
- ★1月12日(土)～14日(月・祝)
宮古フレンドシップキャンプ
(於：秋田県仙北市田沢湖スキー場)
- ☆1月20日(日)
1月アドベンチャー①「日帰りスキー」
(於：八幡平リゾートスキー場)
- ☆1月27日(日)
1月アドベンチャー②「日帰りスキー」
(於：八幡平リゾートスキー場)

感謝

2013年1月4日現在
順不同・敬称略

●東日本大震災
被災地支援募金・献品

- 茨城YMCA、松尾聡子、山田京子、藤井辰夫、横浜西YMCA、日本キリスト教団つきみの教会、日本キリスト教団浦安教会、日本キリスト教団宮古教会、長谷川牧子、佐々木京子、名古屋恒彦、阿部毛糸田、関スミ子、スワン美容室、佐藤ハナヨ、吉田精肉店、大森桂子、坂下信二、日本基督教団池田五月山教会、立教大学YMCA、大塚友美、清泉YMCA、泉北ワイズ、西宮ワイズ、日本基督教団開つきみ野教会、日本基督教団番町教会、木下悦子、東矢高明、加藤様、藤原様、柴家様、北村千賀、竹内忠美、堺YMCA、リーダーOB会、社会福祉法人イエス団友愛幼児園

●維持会費

- 角谷晋次、角谷千代子、竹内一真、千葉代子、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、池田二郎、今松桂子、下坊和幸、熊谷力實、及川茂夫、及川恵、大関靖二、濱塚秋二、田村治之、工藤泰、重石桂司、伊藤克見、伊藤喜代江、川守田浩、工藤直子、名古屋恒彦、水アユ子、今野聖子、今野健男、清水治彦、岩崎スエ、宮崎幸雄、菊池崇江、伊藤眞一郎、南原良哉、小林茂元、朴正浩、長澤博真、長谷川精一、飯島隆輔、井上修三、井上優子、井上浩太郎、松尾聡子、石渡隆司、古澤伸、西村隆太、鳥居飛那

●寄付金

- 角谷晋次、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、今松桂子、下坊和幸、熊谷力實、及川茂夫、及川恵、伊藤克見、伊藤喜代江、川守田浩、今野聖子、今野健男、伊藤眞一郎、朴正浩、石渡隆司